

# シカク月報

2013/01  
#01



シカク月報は、大阪の中津で自費出版の本やCDを売ってるシカクというお店がなるべく毎月作ろうとしている紙です。タダです。

## カモン! ご近所さん!

シカクのご近所のお店や人を紹介してみんなで幸せになろうとする素敵なコーナー。記念すべき第一回は阪急中津駅徒歩30秒のスペシャル立地な古本屋「ふれこく堂」です。メチャク面白い雰囲気な外観ですが品揃えはけっこうセモノで、入って左手の棚には神話・軍モノ・トンデモSF系・猟奇事件・サブカル漫画など店長のシュミと

思われる品々。右手の棚には流行の漫画やレディコミ、さらにもこや吉本はなのエッセイ、レシビ本に絵本に動物の写真集…とファンシー路線の品々。真ん中には文庫棚があって、左側にはSF多めの近代小説、右側には村上春樹や恩田陸など現代日本作家の小説。かように、店内の左と右でぜんぜん違う読者層の本がバッキリ分かれて混然一体となったちょっぴりカオスな空間、それがふれこく堂なんですよ。また店先には百円均一コーナーがあり、雑多な本の中に掘り出し物があったりするので、時間と心に余裕のある時にじっくり



こんにちはシカクです！ ついにシカク月報ができました。前々から作ろうと思いつつ先延ばしにしてたんですが、年明けでキリもいいし、ここでできなきゃ一生できんと思って頑張りました。シカクは今のところ、1年目開店、2年目移転って具合で毎年節目っぽい変化をしてるわけですが、3年目の今年はどんな感じになるのかしら。とりあえず今年は**毎偶数月に展示をする**っていうのと、商品を少なくとも今の倍くらいに増やして、もっと「お店やってます！」って自信を持って言えるようなお店にしたいなっていうのは思ってます。あとはホームページの更新とかTwitterとか**人に認知される行動をし続ける**なんでもいから



★おとぼけフレンズのくわいせつめいは、シカクのホームページでみれるよ。

→このコーナーを漁るのが暮らしの中のプチエキサイトだったりするので、店長さんは映画に造詣の深いお方で、シカクの者どもは映画はからっきしなのでいつもフムフムと話を聞いているだけなのですが、どうもメジャー路線の映画よりもトンデモ系やC級D級映画のものが好きなんです。DVDも(左側に)売っているので、映画好きな方は是非行ってみてください。マンモスかわPネコちゃんがお出迎えてくれます。室は、まだシカクが存在しなかったころに店長が中津の物件(移転前のシカク)を借りようか迷ってウロウロチエキサイトだったりますので、しているときにたまたま見つけたお店で



移転して広がったこのスペースを活用したい…そうだ、ギャラリーをしよう！てことで毎偶数月は展示をすることにしました。がんばってなるべく続けます。

# 2月の展示

漫画家・ゲーム作家・ドグマ出版代表の香山哲による3Dおぼけ展！会場で貸し出し・提供する赤青メガネを使って、数々の3Dおぼけの肖像写真を楽しめます！さらに「3Dってどんなしくみ?」「3Dの歴史」などをわかりやすく解説して知識欲旺盛な君のインテリジェンスにヒットエンドラン！さらにさらに展示内容のスマホアプリも準備中など、とにかく盛りだくさんのスゴイ展示だよ！



「香山哲の赤青3Dおぼけ展」無関連特別企画

## バトメ夫の白黒2Dおぼけ展



「修学旅行の思い出おぼけⅡ世」は、修学旅行のいたたまれない思い出が怨念となり、大の大人になった今でも時々枕元に現れるおぼけである。修学旅行のおみやげで一般的にエピソードに挙げられるのは、1位木刀、2位勾玉のネックレス、3位イルカのキーホルダーだ。僕は女ばかりの家庭で育ってきたので、喧嘩やスポーツには興味がなく、ファッションや美容に興味があったので、木刀にはもくもくせず勾玉のネックレスを例にもれず買ったのだ。しかし、勾玉には赤青緑など様々な色があり、すぐ迷った。迷っている間にも同級生達はどんどん勾玉を買っていく。「あの子とはかぶりたくない」とか「クラスで人気の子はあの色か」とか思ってさらに迷う。結局友達とおそろいで赤色を買うことにしたが、その時には買い物をする時間がほとんど残っておらず、父へのおみやげを選べていない状況だった。僕は仕方なくレジ横に置いてあった、BOSSと書いてある携帯

灰皿を買うことにした。父は当時ロックバンドをやっている、ヘビースモーカーで、コーヒーもよく飲むので、びったりだと子供ながらに思った。こうして修学旅行も無事終わり、家に帰って父におみやげを渡すと、「ありがとう」と言って嬉しそうに包みを開けた。が、中の灰皿を見ると父の表情はみるみる曇り、少し悲しそうな顔になった。「BOSSの灰皿やで。えーやろ」「うん、ありがとう。けどこれ、BUSUやわ」見せてもらおうと、そこには見慣れたBOSSのあの顔ではなく、どことなく父に似たロン毛の謎の男のシルエットが描いてあった(当時父はロックバンドをしていた)。父はありがとうと言っていたが、一度もその灰皿を使っているところを見たことがない。このことをたまたま思い出すとき、僕の目の前にこの修学旅行の思い出おぼけⅡ世がふっと現れるのである。

# !!!! 出店!!!!

出店させてくれるイベントいつでも募集中!

「イベントにいつもと違う感じを出したい」「賑やかな雰囲気になりたい」「カオスっぽさが欲しい」…そうお考えのあなた！シカクをイベントに出店させませんか？ イベントの雰囲気やご要望に応じて、ファンシー・真面目・サブカル・アート・漫画・文章・エログロ・マニアック・廃墟・インテリ・マッドなどなど幅広いラインナップをご用意します！ホームページや月報で告知もするよ。イベントの種類はたぶん問いません！連絡はこの文章の下の下くらいに書いてあるメール、または電話番号まで！

## ★シカクで本・CD・作品を売りたい人募集★

シカクでは委託販売する作品を常時募集しています。本・CD・DVD・ゲームなどがメインです。ジャンル・内容・言語などは一切問いません。納品の前に簡単に審査をするので、作品の一部のデータをお送りいただくか、店頭までお持ちください。売れるかとか上手下手ではなく、本気度や作った目的などを見る感じですよ。グッズ類はスペースの関係上、基本的に受け付けていませんが、見たことないぐらい頭がおかしい面白い感じのものだったら是非見せてほしいです。委託の条件などはホームページ(シカクで検索すると一番上に出てくるよ)をご覧ください。店頭や電話で直接お尋ねください。

# しかくい本とCDのけなし

第一回 別冊少女パルチザン 「犬猫論争の夜明け」



別冊少女パルチザン vol.1 500円(税込) 発行：PWFインターナショナル

私には常々自分に問いかけては答えが出ないでいる、ある疑問があった。それは「自分は犬派か？それとも猫派か？」という、誰にとっても何の興味もわからない、まったくどうでもよく下らなく無意味な、そのくせなかなか明確な答えを持ってない、大変困ったちゃんな疑問である。私はいつも頭の片隅でこの答えを考えながら、二十数年を生きてきた。しかし、私は思わぬところである文章に出会い、積年の疑問に明確な答えを見出すことができた。それは「別冊少女パルチザン」という本に掲載されている「百年「ネ」孤独」というコラムだ。犬も猫もまったく出てこない雑誌になぜか唐突に現われたこのコラムを読み、私は心の積乱雲があつという間に吹き飛んで明るい太陽が手を振っているように感じた。そうだ、これだったんだ。私が漠然と思っていたのにうまく言葉にできず、確信を持たずにいた感情は、まさしくこれなんだ！それ以来私は「犬派か猫派か」という疑問に何の迷いもなく答えられるようになった。このコラムでどのような理論が展開されていたかは、シカクでこの本を立ち読みするなり買うなりして直接確かめてほしい。きっと同じように迷っている、他の誰かの疑問も晴れるはずだ。私がどちら派なのかは書くだけ紙面の無駄なので書かないが、ただひとつ言えることは、どちらも好きだということだ。犬も猫もかわいい。ワンちゃんともニャンちゃんとも遊びたい。猫は既に飼っているの、誰か犬の散歩の時にシカクに寄ってくれないかなと期待するこの頃であった。



シカクから一言  
まさかニャンアリアに出店するなんて夢にも思いませんでした。ありがたいですホント。関西でも指折りのハジけたイベントなのに、おぼけも楽しいに決まっています。シカクも負けじと、キテリな感じにしたいです。

第四回 うちあげ  
【日時】2013年1月6日(日) open17:00 start18:00  
【場所】梅田シャングリラ  
【おかね】前売：2300円 当日：2800円(1drink500円別)  
【出演】松井くんと上田くんとサヨナラバイバイズ/オシリペンペンズ/チッツ/OA: QLIP / DJ: OBBA



生(UBU)  
【日時】2013年1月13日(日) open17:00 start17:30  
【場所】電気蕎麦(天満)  
【おかね】1500円(1ドリンクつき)  
【出演】たわしだけ? / NEW MANUKE / MOON FACE BOYS / CASIO☆トルコ温泉 / 億兆 .PKNY. a / ちーたけ氏 / 出店: シカク / piccoco

シカクからひとこと  
そば×巨大セーラーのワルな組み合わせで評判の電気蕎麦。そこぞうライヴが見れるなんて、考えただけでワクワクする。出るんもワセが「まる感じ」で、世にたいおもしろいと思います。たのしみ!

シカク月報 2013/01 第1号  
発行：シカク  
住所：大阪市北区中津3-17-12 中津商店街の真ん中らへん  
時間：ふだん→土日祝の午後2時ごろ～8時ごろまで 展示中→毎日2時～8時ごろまで。火水オヤスミ  
電話：080-4010-6203(トモエ)  
メール：shikaku@uguilab.com

